

岩村通俊 （岩村通俊） 官療。弘化二年十一月壬午國生れ、明治二十九年一月
月朔（一八四五一一九六）。初名精一郎。岩村通俊、林有造の弟。戊辰役で
は軍監として轉戦。維新後各地の縣令、知事を歴任。宮中顧問官、貴
族院議員を務めり。男爵。美術評論家岩村透の父。

編書、岩村英俊著『樺水遺稿』全二冊（岩村通俊同校、明治二十二年
一月五日岩村通俊刊）等。

